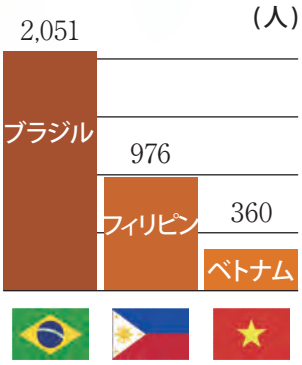
ともに働き、ともに学び、ともに暮らす

多文化共生社会の今

多文化共生社会の実現には、相互理解が欠かせません。誰もが安心して暮らせる社会にするため、異なる言語や文化を理解し、交流することからはじめてみませんか。

問い合わせ　地域支援課市民協働係（プラザきくる内☎35-0925）

市内に住む外国人の国籍トップ３



ブラジルがトップで半数以上を占めています。全体では35カ国の外国人住民が生活していて近年では、ベトナムやインドネシアなど東南アジア出身者が増えています。

市内に住む外国人の数※令和７年２月末時点

4,010人

菊川市では総人口の8.52%、およそ12人に１人に相当する割合の外国人住民が暮らしています。この比率は、県内で最も高い比率です。

多文化共生の実現に向けて

菊川市には、多くの外国人住民が暮らしています（令和７年２月末時点）。異なる国の人が一緒に生活する中で、お互いに違いを認め合い暮らしていこうという考え方が「多文化共生」です。

市では、国籍を問わず誰もが安心していきいきと暮らせるまちを目指し令和４年度に「第４次菊川市多文化共生推進行動指針」を策定しました。その指針に基づき、外国人住民との交流を目的とした講座や出前行政講座の実施など、さまざまな取組を進めています。また、市内では多文化共生の推進に取り組む活動団体が、異文化を学び、知り合うための場を提供しています。

日本人と外国人住民が地域でお互いに暮らしやすくなるためには、相手を知り、小さなコミュニケーションを重ねていくことが大切です。市や活動団体が実施している講座などに参加して対話をし、外国人住民の文化を知るところから、多文化共生を推進していきましょう。

フジオーゼックス株式会社で働く「外国人技能実習生」

菊川市は、自然がたくさんあって暮らしやすい場所です。日本での生活にも少しずつ慣れてきました。仕事を早く覚え、職場でのコミュニケーションを円滑にするために、毎日2時間、日本語の勉強を続けています。少しずつ会話ができるようになり、仕事にも自信がついてきました。これからも日本語を学びながら、仕事にしっかり取り組み、一生懸命がんばりたいと思います。

ベトナム

外国人技能実習生

チャン・ヴァン・ヴィエンさん

人材不足が大きな課題となる中、社員の採用活動を強化するとともに、外国人技能実習生の受け入れも積極的に進めています。現在、ベトナム人技能実習生６人が働いており、円滑に業務を行うため、言語の壁をできるだけ取り除けるように対応を進めています。

外国人技能実習生の協力は不可欠になりつつあります。その中で、技能実習生同士がスムーズに経験や知識を引き継げる環境も整えていく必要があります。これらを通じてダイバーシティや多文化共生の推進を目指していきます。

フジオーゼックス株式会社

人事総務部　課長 嶌田（しまだ） 翔太郎（しょうたろう）さん